

西川産業(株)品質管理室室長	池田 努 様	
アサギ(株)取締役東京支店長	浅黄 利弘 様	
日本ふとん製造協同組合専務理事	只野 悟 様	
富士ベッド工業(株)取締役営業部長	小野 弘幸 様	
まくら(株)代表取締役社長	河元 智行 様	
西川リビング(株)法務室長	吉兼 令晴 様	業種別委員会長
(一社)日本寝具寝装品協会専務理事	奥谷 孝良	中村 富夫

JBA4 期：第五回まくら部会 議事録

記

1. 開催日時 平成 29 年 10 月 30 日 (月) 13:30~15:30
2. 開催場所 (一社)日本寝具寝装品協会 日本橋小舟町事務所内
東京都中央区日本橋小舟町 7-2 小舟町 243 ビル 7F ☎ 03-6661-0213
3. 議題(1) 品名について 用途 素材 形状 他
(2) サイズと呼称について 測定法 カバー整合性
(3) 重量について
(4) 洗濯絵表示について
(5) 硬さについて
(6) その他

議事録

議題 1、2、3、4、5 の全項目

池田部会長：各委員に 品名、呼称、サイズ等の資料説明を願う。

只野委員：硬さ表記は協議必要項目なので未記載の資料です。

小野委員：資料には、全ての項目列挙したので削除法で決めて頂ければよい。

河元委員：ある程度はふとんの品質表示規程に準じて資料作成した。

池田部会長：資料説明から、重さは計量法許容値+4% - 2%以内に入るのか。洗濯表示は家表法の範疇となる。ウォッシュャブル定義も必要だ。一番難しいのは硬さ表記ではないだろうか。

浅黄委員：河元委員資料の項目準拠がよいと思うが、基本項目に抑えてほしい。

奥谷専務：重量と硬さは不用ではないか。触ってみればわかるのではないか。

河元委員：硬さは必要ではないか。店頭以外での販売もある。各会社ごとに異なる表記になることが考えられる。

小野委員：側生地次第で同一の詰めもので柔らかい硬いとなる。

只野委員：品表内には硬さ表現は外して、他で表現するのがよい。

池田部会長：硬さ表記は先送り検討再協議事項とする。

重量表記は品質表示表記事項にしない。通販などで要請ある場合は個別表記とする。

奥谷専務 : 用途と品名は同一表記とする、例：ビーズ抱き枕 主要詰めものを先行表記し、用途を後記する。中素材は詰めものの表記、側素材は側地表記とする。指ピロー、アイピローは大分類に該当するのか、雑貨分類でもよいと思う。

池田部会長 : サイズ表記はまくら本体を決め、カバーは後付けで決められるものである。

小野委員 : サイズ表記は置き尺なのか、円周なのか。

浅黄委員 : サイズ測定は置き尺でよいのではないか。一般的サイズは 43×63 c m、35×50 c mがある。その延長としてサイズと呼称を決定し、まくらカバー業者がそれに合わせていくのではないか。

池田部会長 : サイズ表記は法的規制はないが、6 サイズ以外一般サイズが存在するか？

河元委員 : 高さが消費者問合せでは多い。厚み、かさ高とかの表記はわかりづらい。

中村 JBA : 高さ測定方法等をボーケン品質評価機構などに一度相談してみるのがよい。

池田部会長 : 高中低を高さ項目として、①見掛け測定法 ②荷重測定法にするかは、次回までに各委員で検討し報告願います。

奥谷専務 : 消費者問合わせは、高さや硬さが多いのではないか。消費者目線でのガイドライン作りが必要な事と思う。

次回 10 月 30 日 PM1:30～委員会には高さ測定方法と、それに伴う高中低の表記目安を各委員から冒頭報告をお願いします。

以上